

社会福祉法人いきいき福祉会
2025 年度 いきいき福祉会 法人事業報告

5 月 25 日 理事会

6 月 17 日 評議員会

はじめに

2024 年度介護報酬改定による煽りにより、介護事業所は大きな打撃を受けています。そこに物価高騰により影響を受け電気代・水光熱費・食品関連等も事業費用に跳ね返り、打撃の連続です。訪問介護事業所では確実に介護保険利用時間数が右肩下がり減少しています。加えて、認知症グループホームでは制度改定等の影響や「住まいの多様化」に営利企業の動きが活発化し「在宅」として受け入れ可能な多様な施設形態が増加しています。制度上ではサービス付き高齢者住宅・小規模多機能・看護小規模多機能と、入居者の方々の重症度により受け入れる施設の裾野が広がってきたこと。加えて有料・住宅型有料老人ホームが八王子市内でも著しく増加し、既に 50 施設が存在しています。施設入居者の争奪戦にあり、激戦区とも言えます。現に、こまくさの家は月平均利用件数が予算を大きく下回る結果となり、極めて厳しい経営結果となりました。相当な努力を積み重ね利用者を確保しつつも、入居前日に骨折等も影響し、かつてない苦戦を強いられました。私たち事業所が地域に存在し続け、地域住民の方々に選ばれ、住み慣れた家・地域で安心して生活していく事を支えて行くために、私たちは介護の専門職として原点に立ち返り、法令と照らし合わせ介護の質・力量を自ら問い直す必要があると考えます。そこに特色ある「認知症ケア」がまさに求められています。

更に社会福祉法人の公益的取り組みとして、フードバンク八王子えがおと連携したフードバンクやフードパントリーの取り組みを継続し 4 年間が経過します。特に 2025 年度は拠点である「えがお」を遥かに超えるフードパントリー利用者数件となりました。対応に目が舞うような日もありましたが、生きにくい世の中の問題等など、問題は加速度的に弱者に向かっていく事が背景から見えてきます。

私たちは 2025 年度も介護事業活動に向け、全職員が一丸となり奮闘してきました。しかし経営的にみると厳しい結果になりました。教訓として得られたものを、確実に取り組む覚悟で 2026 年度事業活動に臨んでいきます。介護事業活動は正念場を迎え、職員体制は過渡期を迎えています。平時より「変化は付き物」である事を踏まえ、法人・事業所が大切にしている理念の実践を常に意識しながら、この過渡期を確実な実践に向けて取り組んでいきます。そして何より「平和あってこそ実現できる医療・介護活動」に向け、憲法を守る活動含めて取り組みを継続していきます。

I. 法人及び実施する事業の概要（追加・変更なし）

1) 第二種社会福祉事業及び利用者の定員

・グループホームこまくさの家	定員	18 人
・グループホームこまくさの家・長房	定員	18 人
・デイサービスセンターかつちやんの家	定員	10 人
・ヘルパーステーションいきいき	管理数平均	157 人

2) 公益事業及び利用者の定員

・ケアプランセンターいきいき	管理数平均	234 人
（地域包括支援センター業務委託・予防給付件数）		48 人

3) 事業所職員状況（2026 年 3 月 31 日現在）

- ・常勤職員数： 21 人、非常勤職員： 81 人（うち登録ヘルパー： 26 人）
- ・入職者：常勤 0 人、非常勤職員 9 人、登録ヘルパー 4 人・常用ヘルパー 1 人
- ・入職者の経路：職業能力開発センター、知人・友人関係、ホームページを見て等

- ・退職者：11 人（常勤 2 人、非常勤 9 人）

内訳：石川 3 人、長房 1 人、本部 1 人、かっちゃんの家 2 人、ヘルパーST 4 人
（うちヘルパー2 人）、

- ・退職の理由：自己都合退職

<職員平均年齢>

- ・常勤職員： 53.8 才
- ・非常勤職員： 62.5 才（うち登録ヘルパー平均年齢 67.0 才）

4) 職員確保の取り組み

- ・法人ホームページ、ハローワーク、都立多摩職業能力開発センター八王子校、八王子市介護のお仕事フェア、職員紹介

5) 有給休暇取得状況 : 全職員 有給休暇消化率 92 % (前期 98.8 %)

- ・常勤職員 消化率 87.7% (前期 97.7%)
- ・非常勤職員 消化率 100.0% (前期 118.0%)
- ・登録ヘルパー 消化率 85.4% (前期 74.0%)

6) 法令遵守・業務改善に関しての取り組み

- ・管理者会議（役職者会議含む）にて事業計画や予算実践・経営管理・法令遵守等を実施。感染対策委員会も兼ねる
- ・全事業所 感染及び災害における BCP 見直し・改定
- ・高齢者虐待防止学習：「虐待の目チェックリスト」全事業所で 11 月実施。
- ・安全委員会：毎月開催 各事業所インシデント・事故報告 情報共有・対策検討
身体拘束適正化委員会、高齢者虐待防止委員会の定期的開催
- ・八王子市への事故報告件数：合計 8 件
石川 4 件、長房 4 件、かっちゃんの家 0 件、ケアプラン 0 件、ヘルパーST 0 件
- ・介護事業所の加算関連を介護の質と捉え、取得可能なものは積極的に加算取得へ
- ・情報公表への取り組み
- ・第三者評価実施：該当事業所無し
- ・個人情報保護改定し、毎年職員の個人情報保護を更新へ
- ・ハラスメント窓口整備し 12 月学習会開催した
- ・ノーリフティングへの取り組みとしてパワースーツ体験+事業所での試験運用
（福祉協同サービスより説明・対応）
- ・法人看護管理による 3 事業所への看護支援スタートした年度
不安定だったデイ看護体制をフォローし、こまくさの家・こまくさの家・長房は診療所からの訪問看護の契約を終了し、法人看護管理による訪問看護を開始した。
診療所と介護職・事業所を結ぶ架け橋として、そして介護職へ医療知識の理解と入居者・利用者の方々の異常の早期発見と健康管理に向け診療所と連携にも努めてきた。

7) 就業規則・労務関係：働きやすい職場づくりに向け検討・具体化を行った

- ・介護職員・第 4 の新設加算に伴う改訂：常勤は 5,000 円・非常勤職員は時給 30 円増額
対象外事業所（ケアプランセンター・本部）も対応を同じくする事を確認した。

- ・主任ケアマネ手当新設：5,000 円/月
- ・夜勤手当の改定：5,000 円
- ・有給休暇における「時間有休取得」を導入初年度として 2 日間を位置づけ実施した。

8) 事業所管理運営：定例管理者会議、役職者会議を年間予定に基づき開催（月 1 回基本開催）

各事業所職場会議前に事業所管理者と打ち合わせを実施

グループホーム入居者判定会議開催

入居者・利用者対応困難ケースのケース検討

育成面談実施他

医療連携の強化に向け懇談会の開催（日常的連携の強化に向けて等、相談へ）

法人内グループホーム定期打ち合わせ（四半期毎開催）

9) 理事会開催：2025 年 5 月 26 日、7 月 28 日、9 月 22 日、11 月 6 日、

2026 年 1 月 26 日、2026 年 3 月 16 日

評議員会開催：2025 年 6 月 18 日、11 月 19 日、2026 年 3 月 25 日

業務監査面談の実施（法人監事）

より良い組織運営に向けて役職者面談実施（2023 年度業務監査として施設訪問あり）

法人指導監査：今年度実施無（前回 2025 年 2 月 25 日）

指摘事項：ケアプランセンターいきいきの法人登記完了

こまくさの家・長房の地上権設定完了（地番合筆）

10) 社会福祉法人の公益的取り組み

- ・介護よろず相談所：法人 6 件、事業所 0 件 法人 HP「問い合わせフォーム」利用者が全て GH 入所・施設入所・生活相談・介護相談について等

- ・フードパントリー：「NPO 法人フードバンク八王子えがお」連携継続

2025 年度利用対応数：375 件（うち単身者：273 人）

<利用者の特徴>

殆どが単身生活者・メンタル疾患・負債あり・コロナ禍での離職や減収・家族疎遠

経済的理由により医療受診継続出来ず自分・認知症の母親の体調不良あり（診療所へ相談）

11) 法人長期計画の実践

法人理事会・評議員会を経て、法人中長期計画が完成した。

- ① 特に 2024 年度末、補助金事業によるこまくさの家・長房の大規模改修工事（屋上防水・外壁・植え込み型の空調・換気）の工事が完了した。
- ② 更にこまくさの家・長房は施設開所より 11 年となる為、利用者居室エアコンの入れ替えを 2026 年度想定する。（2027 年度エアコン問題あり）
- ③ 2025 年 4 月末までのこまくさの家（石川）の定期建物賃貸借契約を期間延長に向け交渉を行い、2035 年 4 月末日まで 10 年間契約延長を行った。（家賃値上げ有）
- ④ 2025 年 4 月度ヘルパーステーションいきいき・ケアプランセンターいきいきの東日本銀行借入金の繰上げ返済を行った。
- ⑤ 補助金事業対象事業所のこまくさの家・長房は維持管理費の収支に於いて大きな乖離があり、八王子市・東京都へ相談し 2025 年 7 月度より値上げとなる。同時に新設「修繕積立金（1 利用者・月 2,000 円積立てとなる）」が開始となる。
- ⑥ こまくさの家の維持管理費を 2025 年度 7 月より 15,000 円→22,000 円へ改定した。

- ⑦ 共立ビル・エレベーター更新工事費用の請求が 2026 年早々に発生すると見込まれる。

ケアプランセンターいきいき・ヘルパーステーションいきいきの施設設備等積立金を活用し支払を準備する。

さまざまに発生が想定される施設設備関連更新に関わる費用は、基本的には施設設備等積立金に於いて対処していく。特に、こまくさの家・長房は約 10 年後施設工事全般に向けて、更に内部の手入れ等含めて計画的な積立てが必須である。国庫補助金取り崩し額をそのまま積立てられるよう経営改善に努めていく。

12) その他

①新型コロナウイルス感染症への取り組み：法人指針継続作成

- ・こまくさの家・長房クラスター発生（3/2～3/25）
- ・特に大雪・大雨（台風）等の影響による事業活動の判断については、役職者 LINE にて災害予測情報含めて情報共有し、安全性を確保しながら事業運営に努めた。

②情報発信

- ・法人ホームページによる介護よろず相談：問い合わせフォーム～返信にて相談対応へ
- ・各事業所はホームページ「お知らせ」を 2 か月毎に更新へ。利用者の方々の行事参加をはじめ、施設からの便り等も情報発信として行っている。
- ・法人ホームページへ採用の相談等も発生し、返信～ご相談というケースあり。
- ・事業所からのお知らせ発信により、サービス利用のご家族も実情把握に向け有効とのご意見が聞かれる。

③他法人との連携：生活困窮者支援、障害福祉への関わりと支援

- ・フードバンク八王子えがお：フードドライブ＆フードパントリー
- ・社会福祉法人なみき福祉会：就労支援 B 型製菓・キルト作品 月 1 回販売会
こまくさの家、こまくさの家・長房に製菓販売を継続中
地域運営推進会議でなみき福祉会との連携を紹介し、地域保育園・自治会での販路へつながった

④法人外等研修への参加

- ・全日本民医連主催：介護・福祉責任者会議：2 名
- ・全日本民医連主催：ケアの倫理学習会：指定報告有
- ・全日本民医連主催：医療・介護顧問弁護士交流会：1 名
- ・東京民医連主催介護を担う職責者研修フォローアップ研修：2 名
- ・東京民医連主催：介護事業所法令遵守学習会：6 名
- ・東京民医連主催：介護事業所経営検討会：6 名
- ・東京民医連主催：介護事業所感染対策学習会：3 名
- ・三多摩ブロック主催：ケアマネ学習会（石川沖地震と BCP 対策について）
- ・三多摩ブロック主催：伴走型支援について学習会：3 名
- ・居宅支援事業所：八王子介護事業所連絡会理事・メンバー参加
- ・原水爆禁止世界大会 2025：グループホームこまくさの家 常勤 1 名選出
- ・法人主催：教育委員会 介護の葛藤について
- ・法人主催：ハラスメント学習会 ハラスメントの基本的理解：全管理者・法人監事 1 名参加

・各事業所は八王子指定学習会へ多数参加あり

Ⅱ. 各事業所の主な稼働について

①こまくさの家：サービス提供加算Ⅱ

	月平均利用件数	月平均入居実日数	平均介護度	平均日当円
2024 年度	17.07	519.2	2.31	11,076
2025 年度	15.6	448	1.86	10,778

②こまくさの家・長房：サービス提供加算Ⅱ

	月平均利用件数	月平均入居実日数	平均介護度	平均日当円
2024 年度	17.66	537	1.99	10,767
2025 年度	17.36	528	2.17	10,929

③デイサービスかつちゃんの家：サービス提供加算Ⅰ

	1 日平均利用件数	月平均利用回数	平均介護度	平均日当円
2024 年度	7.71	200	2.0	10,552
2025 年度	7.72	199.5	2.07	10,735

④ヘルパーステーションいきいき：特定事業所加算Ⅱ

	常勤換算数	月平均介護件数	月平均介護利用時間数	自立支援管理数
2024 年度	12.78	107	1083	24.3
2025 年度	13.74	103	994.5	27.7

⑤ケアプランセンターいきいき：特定Ⅱ

	常勤換算数	月平均管理件数	月平均介護/予防	介護件討円
2024 年度	7.41	288	234/48	17,540
2025 年度	7.43	299	241/53	17,736

以上